

平成23年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	4番	富永訓正 (60分)	<p>1. 羽村市内の建造物の耐震化対策について</p> <p>(1)市内の小・中学校校舎については、現在までに100%耐震化工事が完了していると聞いているが、災害発生時に、市民の避難所となる小・中学校の体育館の耐震性について質問する。</p> <p>①体育館の構造躯体について、現在までにどのような耐震化を実施し、どの程度の耐震性を有するか。</p> <p>②体育館の天井部分の内装、照明、空調等、付帯設備の落下防止対策を含め、現在までにどのような耐震化を実施し、どの程度の耐震性を有するか。</p> <p>③以上のことから、現状で耐震性を充分有しており、安全な建造物と断定できるか。</p> <p>(2)その他、主要施設の耐震化の進捗状況について聞く。</p> <p>①幼稚園・保育園・学童保育所はどうか。</p> <p>②消防団分団車庫（詰所）、防災備蓄倉庫はどうか。</p> <p>③地域集会施設はどうか。</p> <p>④文化施設・スポーツ施設はどうか。</p> <p>⑤市役所はどうか。</p> <p>⑥市営住宅はどうか。</p> <p>⑦水道施設はどうか。</p> <p>(3)復旧優先道路 及び、緊急輸送道路沿線の建造物の耐震性調査、耐震化実施の計画は。</p> <p>2. 日本自動車工業会の土日稼働・平日休業に伴う行政側の対応について</p> <p>(1)市内のピーク時節電対策に伴う平日休業・土日稼働の対象事業所数と対象者数をどう把握しているか。</p> <p>(2)土日稼働が実施された場合、特に共働き世帯での子育て環境に影響がでるとされる。そこで、保育園・幼稚園・学童保育・小中学校・放課後子ども教室等の土日対応について、市としてどのように取り組む考えか。</p> <p>(3)その他、行政機関、交通機関、医療機関等について考えられる影響と、市として取れる対応をどのように考えているか。</p> <p>3. 自転車対策について</p> <p>(1)羽村・小作駅周辺駐輪場の収容台数と、実利用台数の駐輪場ごとの状況について把握しているか。</p> <p>(2)羽村駅周辺に新たな駐輪場の開設予定はあるか。</p>	6月9日

2 人目

3 番

中 嶋 勝
(60 分)

- (3) 各駐輪場で、相当数の放置自転車らしき存在が見受けられるが、これら放置自転車の撤去によるスペース確保も有効な処置と思われるが、放置自転車とみなす基準は。
- (4) 自転車保管所のスペースとその現状はどうか。
- (5) 自転車保管所で、所有者が現われない等、処分対象とみなす基準は。
- (6) 処分対象となった放置自転車は保管自転車買受人への売却以外に、現在どのようにしているのか。
- (7) 再利用可能な処分対象放置自転車を被災地に寄贈できないか。

1. 市長の退職金について

- (1) 市長はじめ理事者の退職金について聞く。
 - ① 1 期 4 年ごとに支払われる、市長はじめ理事者の退職金はいくらか。
 - ② 市長はこの金額についてどうお考えか。
 - ③ 市長はじめ理事者の退職金を見直す考えはあるか。

2. 防災行政無線等の緊急時における情報伝達方法について

- (1) 防災行政無線の改善について聞く。
 - ① 防災行政無線について市民からどのような声が寄せられているか。
 - ② 現在市内の防災無線の数はいくつあるか。
 - ③ 防災行政無線を増やす計画はあるか。
 - ④ 計画停電も想定される中で停電時は機能するのか。
 - ⑤ 防災行政無線の総点検をすべきと考えるがどうか。
- (2) ここ数年をみても、地域によって高層マンションの建設など、住環境は大きく変化してきている。それにより防災無線の聞こえ方にも変化が生じているのではないか。そのような場合、防災無線を高い建物（マンション等）の屋上に設置依頼を検討する考えはあるか。
- (3) 緊急時の防災無線以外の情報伝達方法について聞く。
 - ① 「広報はむら臨時号」などの紙ベースの対応は続けるのか。
 - ② 災害メールの利用者数と目標数は。
 - ③ 緊急時は広報車を巡回させてはどうか。
 - ④ その他どのような方法で伝達・周知しているのか。
- (4) 4 月 26 日早朝、けやき児童公園の防災行政無線から大きな異常音が 30 分以上止まらないという事故がおきた。
 - ① その故障原因は何であったのか。
 - ② どういった対応をしたのか。

6 月 9 日

3 人目

6 番

大塚 あかね
(60 分)

- ③今後の対策はどうするのか。
- 3. 行政サービスの充実について**
- (1) 市長への手紙について聞く。
- ①平成 22 年度、寄せられた手紙・メールの数は何件であったか。
- ②どのような内容が多かったのか。また、その中で苦情はあったのか。
- (2) 土日開庁について聞く。
- ①平成 22 年度の利用者数と、土・日の平均利用者数は何人であったか。
- ②市民からの要望と今後の取り組みをどう考えているのか。
- (3) 市役所連絡所について
- ①平成 22 年度のそれぞれの利用者数は何人であったか。
- ②市民からの要望と今後の取り組みをどう考えているのか。
- (4) 窓口対応について聞く。
- ①市民からの苦情はどのようなものがあったか。

1. 地域防災の強化について

- (1) 震災対策の見直しについて
- ①読売新聞社が行った「震災対策に関する調査」で
- ・被害想定
 - ・情報収集・伝達の在り方
 - ・帰宅困難者、被災者の受け入れ、物資等の調達
- を見直し優先課題と羽村市は回答しているが、具体的策について現段階においての考えと、今後の対策について、伺う。
- ②女性や子育てのニーズを踏まえた、避難所で提供する物資、避難所の設計、備蓄コンテナ内の備蓄品等の災害対応についての考えを伺う。
- ③奥多摩湖（小河内ダム）の決壊、浅間山の土砂崩れ等、想定外の災害に対する市の対応を検討するべきではないか。

(2) 街頭消火器について

- ①市として、市内に設置されている数と場所を把握しておくべきではないか。
- ②管理方法についての指針を示すべきではないか。

2. 安全で信頼される水道について

(1) 地下水の保全について

- ①市民へ、地下水の保全のための取り組み、たとえば生活排水を雨水管に流すことの問題に対する積極的周知や下水道条例に生活排水に関する項目を追加するなど、さらに取り組むべきではないか。

6 月 9 日

4 人目

12 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- ②雨水浸透施設設置については、環境基本計画では指標 368 件とされているが、達成のための具体策は。
 - (2) 環境基本計画について
 - ①改定の予定はいつか。
 - ②地下水や湧水についての具体的保全策を示すべきではないか。
 - (3) 水質検査について
 - ①厚生労働省から中長期的に水道水専用の検査機器を設置するなど検査体制の確保の検討が通知されているが、羽村市としての対応について
 - ②採水や分析の方法をまとめたモニタリングマニュアルの作成は検討されているか。
 - ③当該年度の水質検査計画が示されていないのはなぜか。
- 3. 夏季に企業が行う節電対策に対応する子育て支援について**
- (1) 延長保育の拡大、休日保育の実施など、保育園の対応は図られるのか。
 - (2) 学童クラブの開所時間、休日の開所等の対応について
- 4. 地上デジタル放送移行への最終的取り組みについて**
- (1) 高齢者等への最終確認活動をどのように図るか。
 - (2) 共聴施設デジタル化対応について
 - ①受信障害対策共聴施設のデジタル化について
 - ②集合住宅共聴施設のデジタル化について
 - (3) エリア内等電波が届いているとされている地域で最終段階において、極小的にデジタル放送が受信できない世帯等が発生することが懸念されているが、市として、どのような対策を講じていくのか。
 - (4) 東京スカイツリー竣工後の問題について
 - ①公共施設のアンテナ再調整に対する準備について
 - ②市民への対応（広報・周知、新たな受信障害への対応など）

1. 防災・減災対策の早期見直しを

- (1) これまでの町内会・自治会組織を存続しつつ、(仮称) 住民自治協議会として例えば小学校区単位での住民自治組織を提案してきた。今後の市の取り組みについて聞く。また、地域コミュニティの活性化をどのように図っていくのか、その施策を聞く。
- (2) 地域の特性とそれに基づく実効性のある防災・減災対策をどのように考えていくのか。

6 月 9 日

- ①清流地区についてはどうか。
- ②玉川地区についてはどうか。
- ③根がらみ前地域についてはどうか。
- ④小作台東地区についてはどうか。
- ⑤その他地域での課題をどう想定しているか。
- (3) 避難所となる小中学校の避難所用備蓄倉庫は、いつまでに全 10 校完成させるのか。
- (4) 防災マニュアルを活用しての、有事を想定した実効性のある防災訓練を実施する考えはないか。
- (5) 避難所となる小中学校を自家発電体制の構築など、避難所としての環境整備を進める考えはないか。
- (6) 高齢者の方や障がい者の方、あるいは外国籍の方など日本語に不便を感じる方等を対象として、災害時要援護者名簿の登録制度を導入する考えはないか。
- (7) 避難所の体制など、動物との共生という視点からの防災・減災対策が必要と考えるが、市の認識と具体的施策を聞く。
- (8) 被災者支援システムを積極的に取り入れて活用する考えはないか。
- (9) より実効性のある「地域防災計画」となるよう、これを早期に見直す考えはあるか。また、新たに加えなければならない事項は、どのようなものがあるか。

2. 羽村市の事業継続計画（BCP）について

- (1) 地域防災、新型インフルエンザ、情報セキュリティに関するそれぞれの事業継続計画に対する市の認識を問う。
- (2) これまで、一般質問、予算・決算の特別委員会において、「事業継続計画」を早期に策定するよう提案してきた。市長は、平成 22 年度中に「事業継続計画」を策定すると約束したが、計画はできているか。できていなければ、いつまでに策定する考えか。
- (3) 事業を継続させていくための市役所の耐震化は図れているか。
- (4) 民間企業への「事業継続計画」の支援策をどう推進していくか。

3. 羽村市の小中学校をユネスコスクールネットワークに加盟を

- (1) 羽村市の公立小中学校 10 校を、ユネスコの理念に沿った取り組みを継続的に実施する学校として、ユネスコスクールネットワークに加盟する考えはないか。
- (2) ユネスコは、被災地への応援メッセージを世界中に呼びかけるキャンペーン、「『絆』メッセージ・フロム・ザ・ワールド」を開始した。この「励まし」を送る企画に、羽村市内の小中学生にも参加を呼びかけてはどうか。

5 人目

10 番

小 官 國 暉
(60 分)

1. 安定財政基盤の確立に向けて、さらなる行 財政改革の推進を

- (1) 本年 1 月に策定された「第 2 次緊急経済財政対策」の取り組み状況は。
- (2) 昨年度に設置された「行政改革審議会」では、どのような提案が挙げられているのか、その進捗状況について伺う。
- (3) 昨年 12 月に実施された「羽村市事業仕分け」は、これからの行財政運営を進めていくうえで、新たな試みとしての第一歩であると評価できる。さらに現状の事務事業を市民の目線に立ち、見直す事に視点をおき、内容を充実して、本年度も実施することが必要と思うがいかがか。
- (4) 東日本大震災への支援について、補正予算は組まれるのか。これに対する、国及び東京都からの補助金などの交付はあるのか。

2. 災害に強いまちづくりに向けて

- (1) 羽村市役所西庁舎、市立保育園、スポーツセンター、地域集会施設等、公共施設の耐震化実施計画は策定されているか。
- (2) 自然災害発生時に懸念される、崖崩れや多摩川増水による浸水、洪水被害等の防災実施計画は具体的に進められているか。
- (3) 避難、救援活動に支障をきたす狭あい道路や電線の地中化に向けての対策は具体的に進められているか。
- (4) 災害時に支援が必要となる要援護者の状況について市は把握しているか。また、各町内会自主防災組織と羽村市、福生消防署等の関係機関との連携が重要と考えるがいかがか。

6 月 10 日

6 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

1. 職員給与の見直しと業務改革について

- (1) 職員給与について
 - ① 地域手当の役割について市の見解を伺う。
 - ② 22 年度までの給料、地域手当の引き下げや 23 年 1 月の地域手当の削減を受けた一般職員、課長職、部長職の平均年齢と平均年収（又は最新のもの）はそれぞれいくらか伺う。
 - ③ 地域手当は羽村市の国の基準は 6 % となっており、26 市の中でも低いがなぜか。それに対し羽村市の支給率は 13. 5 % と高いため、地域手当補正後のラスパイレス指数が高くなっている。この現状について市の見解を伺う。
 - ④ 市の支給率は国の基準を上回っているが、市に入る特別交付税への影響額について伺う。

6 月 10 日

(2) 査定昇給制度について

- ①業務の効率化を図るなど基準を設け、成果を出したチームや個人に対し、報奨金をつけてはどうか。

(3) 非常勤職員の待遇改善について

- ①港区などを参考に能力と職責に応じた報酬を増やす制度を導入してはどうか。

(4) 「業務改善の見える化」の推進について

- ①「職員提案制度」の充実のため優秀提案に高額な賞金をつけてはどうか。
- ②「職員提案制度」を公表し、市の業務改善への取り組みのPRをしてはどうか。

2. 電力不足と暑さ対策について

(1) 省エネの具体的な取り組みを今後、市民、事業者、市としてどう取り組むのか。

- ①クールビズへの取り組みはどうか。
- ②庁舎開庁時間を前倒しし、夏時間を推進してはどうか。
- ③公共施設や街灯などLED電球の推進状況を伺う。

(2) 猛暑対策として熱中症等から高齢者など市民の健康をどう守るのか。

(3) まちを挙げてのヒートアイランド対策について

- ①学校校庭の芝生化の推進は、一部芝生化も含め今後どう図るのか。
- ②各学校や家庭のグリーンカーテンの推進や推進状況を伺う。
- ③自然エネルギーで発電した電気を買取る「グリーン証書」の推進状況及び家庭用太陽光発電の助成金の活用状況を伺う。

(4) 市内企業についての電力不足の影響をどう分析しているのか。

3. 震災後の景気・経済の活性化について

(1) 市内企業や商店の震災後の経済悪化等を避けるため、市の取り組みについての考えを伺う。また、活性化推進室と商工会の連携への取り組みについて伺う。

(2) 東京都産業労働局の募集する「ものづくり産業基盤強化グループ支援事業」を推進してはどうか。

(3) 羽村駅前にパトロールセンターが5月に開設され、今後NPO法人化が計画されているが、パトロールセンター施設や敷地の活用について伺う。

- ①施設の利用について、人が集まる拠点として事業を検討してはどうか。
- ②観光などに利用できる自転車のレンタル事業、カーシェアリング事業等を検討してはどうか。

1. 震災対策について

- (1)放射能に関して恐怖感や不安を解消するには正確な知識、情報を市民に周知することが重要であるが、その取り組みについて
- ①農産物、飲料水、大気中などの放射線測定についての取り組みは。
 - ②放射能に関して正確な知識、情報を市民に周知するための取り組みは。
- (2)大震災から3か月近くが経過したが、羽村市の取り組んだ被災者支援、人的、物的支援の状況は。
- (3)情報の伝達について
- ①行政防災無線の聞きづらさの解消に向けての検討は。
 - ②市の広報車の活用を積極的に進めていくべきと考えるがいかがか。
 - ③昭島市等で実施しているエリアメールの活用を検討してはどうか。
- (4)広域避難所の拡大について
- ①現在の避難所で受入れ態勢は十分であるのか。
 - ②私立保育園、幼稚園など、耐震化されている民間施設を利用し、現在の避難所の数を増やすべきと考えるがいかがか。
 - ③前倒しで防災備蓄倉庫の増設と備蓄品の充実を図るべきと考えるがいかがか。
- (5)学校の防災対策について
- ①地震発生時の職員及び子どもたちの対応と今後の対策について
 - ②今回の地震発生後の引き渡しの状況はどうであったか。
 - ③小学校と中学校とは防災マニュアルは異なっているのか。
 - ④今回の東日本大震災を教訓として、防災教育をどう進めていくのか。
- (6)国旗掲揚の規定について
- ①羽村市の国旗掲揚に際しての規定はあるのか。
 - ②国難に際し、半旗を掲げ哀悼の意を表すことは重要なことと考えるがいかがか。
- (7)今回の東日本大震災を教訓とした羽村市の地域防災計画の新たな見直しと課題は。
- (8)今後、羽村市における大災害とはどのようなことが想定されるか。

2. 節電対策について

- (1)庁舎内の節電対策をどう進めていくのか。
- ①庁内パソコン、照明などの節電について
 - ②適正冷房の徹底について
 - ③軽装の奨励について（市開催の会議などの出席者へ軽装での来庁を勧めていく。）
 - ④普及啓発について

8 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

- ⑤その他、職員のアイデア、工夫を生かした節電対策を実施しているか。
- (2)一般市民にどのように節電の啓発をしているのか。
- (3)節電対策により企業が就業時間の変更を迫られたことにより、延長、休日保育の必要性が出てきた。厚生労働省からの要請はあったのか、羽村市での対応について伺う。
- (4)はむら夏まつり実施の中で、節電とどう向き合っていくのか。
- (5)地域で電力エネルギーを生み出し、市民や企業が取り組む「地産地消エネルギー」（仮称）計画の推進を提案してみてもいいか。
- (6)羽村市が把握している東京電力の今後の節電計画の見通しとその対策は。

1. 区画整理撤回要求 第 17 弾

- (1)実現不可能な区画整理を中止せよ。
 - ①区画整理や換地設計案第 2 次（案）の中止を求める署名が市長宛に出された。どんな主旨か。
 - ②署名人数は。
 - ③署名を尊重し、区画整理を見直す気はないか、市長の考えを聞く。
 - ④換地設計案第 2 次（案）への意見書は何通か。
 - ⑤今後の第 2 次（案）作業予定を聞く。
 - ⑥西口駅前が柵で囲われたままで市民が不便をしている。対応を聞く。
 - ⑦情報開示請求で出された区画整理審議会議事録が黒塗りだ。情報公開条例の運用規定に反している。市長の認識を聞く。
 - ⑧前議会への陳情で求められた、区画整理情報公開の作業は進んでいるか。
 - ⑨マルフジ向かいの先行取得地が工事されているが、なぜか。

2. 行財政改革の実情を聞く

- (1)電力小売市場が自由化された。割安料金で経費削減したらどうか。
 - ①市施設の過去 3 年間の電気料金支払額を聞く。
 - ②緊急経済財政対策で、電気料金の削減にはどのように取り組んだか。
 - ③電力小売市場の自由化の対象となる 50kW 以上契約の市施設と電気料金を聞く。
 - ④市が契約する東京電力に比べ、特定規模電気事業者のほうが 1~2 割安いといわれる。他市の小売電力利用状況はどうか。
 - ⑤経済産業省資源エネルギー庁が推進している。導入したらどうか。

6 月 10 日

9人目	2番	富松 崇 (45分)	<p>(2) 市民サービスの後退が著しい。</p> <p>① 図書館で、一部の雑誌購入が中止になった。なぜか。</p> <p>② 購入続行と中止の数、予算削減額を聞く。</p> <p>③ 購入続行雑誌と中止の判断は誰がどのような基準で選別したか。</p> <p>④ 客観的判断（貸し出し数、利用者アンケートなど）をしたか。</p> <p>⑤ 読者が不便をしている。利用者の声を聞き、見直したらどうか。</p> <p>1. 学校の教育現場について</p> <p>(1) 小学校の教育現場について</p> <p>① 市内小学校での授業中に落ち着きがなく歩き回る児童はいるのか、いる場合の学年や人数は。</p> <p>② そのようなクラスがある場合の対応はどのようにとっているのか。</p> <p>(2) 中学校の教育現場について</p> <p>① いじめ等による不登校や相談を受けている生徒はいるのか、いる場合の学年や人数は。</p> <p>② そのような案件がある場合の対応はどのようにとっているのか。</p> <p>(3) 教職員の採用方法について</p> <p>① 市内小中学校に採用されている先生はどのように選考され採用されているのか。</p> <p>② 経験豊かな先生を採用する方法はないのか。</p>	6月10日
10人目	5番	鈴木 拓也 (60分)	<p>1. 羽村駅西口区画整理事業の見直しを今こそおこなおう</p> <p>(1) 第2次換地案（換地設計案第2次（案））について</p> <p>① 第2次換地案はどのような特徴をもっているのか。</p> <p>② 減歩される地権者の人数、清算金を徴収する人数、清算金を交付する人数は何人か。</p> <p>③ 1次案とくらべて、減歩率が上がった地権者は何人、下がった地権者は何人か。</p> <p>④ 1次案とくらべて、清算金が上がった地権者は何人、下がった地権者は何人か。</p> <p>(2) 第2次換地案に対する意見書について</p> <p>① 意見書の内容は、どのような内訳となっているか。</p> <p>② 1次案に対して意見書を提出しなかったが、2次案に対して意見書を提出した地権者は何人か。</p> <p>③ 2次案に対しての地権者から意見書が出されたことは、既成市街地を区画整理方式に</p>	6月13日

よってまちづくりすることの困難さが表れていると考えるが、どうか。

(3) 多摩都市モノレールについて

① 区画整理事業は、瑞穂から羽村を經由してあきる野にモノレール路線が通ることを前提にしてつくられている。確実にモノレール路線が通ると考えているのか。

② 考えているのなら、その根拠はなにか。

③ モノレール路線がこない可能性もあることを前提にしたまちづくり計画に切りかえることが必要ではないか。

(4) 羽村駅西口区画整理事業を見直すべきと、多くの市民から回答が寄せられている。こうした声にこたえて、事業を大元から見直す必要があると考えるが、どうか。

2. よりよい学校教育をめざそう

(1) 少人数学級をすすめ、きめ細かな教育をすすめよう。

① 国の制度として、小学校1年生は35人学級とすることになった。羽村市での状況はどうか。どのような効果、課題があると考えているか。また、東京都の施策としておこなわれている小学校2年生、中学校1年生の少人数学級の実施状況、効果、課題はどうか。

② 羽村市独自で少人数学級をすすめることを求めたい。その考えはあるか。また、課題は何か。

(2) 小中一貫教育について

① 三中学区の実施計画について出された意見・要望などはなにがあるか。それへどのように対応したか。

② 三中学区では、今年度どのような取り組みがおこなわれるのか。

③ 一、二中学区において、どのような内容が今年度おこなわれる予定か。

④ 乗り入れ授業は、それぞれの学区でどのように今年度おこなわれる計画か。

⑤ 小中一貫教育にあたって、人的配置は各学校毎にどのようになされるのか。

(3) 学校の防災計画について

① 3月11日の地震の際に、子どもは安全に避難、帰宅することができたか。課題はあったか。

② 大地震を経て、学校の防災計画について課題は浮かび上がってきたか。

3. 高校、大学、専門学校への進学にあたってステップアップした支援策を

(1) ステップアップした支援策の具体化はなされたか。実施時期はいつからと考えているか。

(2) これまで市がおこなってきた高校進学だけ

11 人目

17 番

門 間 淑 子
(60 分)

ではなく、大学、専門学校への進学に際しての経済的にきびしい家庭への支援策が必要だと考える。市の考えはどうか。

1. 原発事故に対する対応について

(1) 原発事故対策について

- ①地域防災計画に、新たに原発事故対策を加えるべきではないか。
- ②放射性物質測定器を購入し、定期的に大気・土壌・水・食品などを測定し結果の公表を始めてはどうか。
- ③学校・保育園・水上公園のプール水は、定期的に測定してはどうか。

(2) 夏の節電計画について

- ①羽村市の節電計画の公表は、いつ、どのようになされるのか。
庁舎・公共施設・指定管理者なども含んだ計画になるのか。
- ②土日開庁が続けられる予定だが、どちらか 1 日のみとすべきではないか。
- ③学校の節電計画は考えられているか。

2. 電気供給契約制度の見直しを

- (1) 行財政改革の観点から、電力契約の見直しを検討したことはあるか。
- (2) 自由契約が可能な電力消費量の公共施設は、市内にいくつあるか。
- (3) 特定規模電気事業者との契約を進めてはどうか。

3. 武蔵野小前通りの安全対策について

- (1) 地域の方々から「危険だから何とかすべきだ」との声は、続いている。ガードレールの設置など、早急に安全対策を実施すべきではないか。

6 月 13 日

12 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

1. 夏の電力不足にどう対応するか。

- (1) 羽村市として、この夏、公共機関の節電目標を何%と定めているか。
- (2) その目標達成のために何を行う計画か。具体例を挙げて、それぞれ何%の節電効果があるか。
- (3) 市民や市内企業に対して、節電をどう周知・徹底しようと考えているか。
- (4) この夏、土・日曜日の企業の出勤に対して、保育園などの対応を求める声があるが、市や私立保育園はどう対応する考えか。
- (5) 電力不足に対する長期的な展望はあるか。

6 月 13 日

13 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

2. 市民生活安全パトロールについて市の明確な方針を示せ。

- (1) 5月10日の会議で出された意見をもとに、この間、どう改善策を講じてきたか。
- (2) 市民生活安全パトロールは、行政主導だという意見があるが、市民がボランティアとして参加しているパトロールがどうして行政主導なのか。
- (3) 市民生活安全パトロールを今後どうすべきか、明確に方針を示すべきではないか。また、それは、いつ、誰が、どの場で決定するのか。

3. 市内の学校教育の中で、囲碁や将棋をもっと取り入れるべきではないか。

- (1) 学校教育や部活動の中で、囲碁や将棋を取り入れている学校はあるか。また、どのように取り入れて、どのような効果があると報告されているか。
- (2) 市内の囲碁教室、将棋教室はいくつぐらいあり、何人ぐらいの市内の生徒・児童が参加しているか把握しているか。
- (3) 囲碁や将棋のプロの世界でも、子ども達への普及に積極的で、講演や子ども達に囲碁・将棋の楽しさを教えてもらうこともできるが、そうした機会を利用して普及に努める考えはないか。
- (4) 地域の力をかりて、もっと囲碁・将棋を取り入れた教育を展開すべきと考えるが、教育委員会の考えを問う。

1. 災害対策を見直すべきではないか

- (1) 放射能対策について
 - ① 現時点でどのような対策を実施しているか。
 - ② ダイオキシンなどと同様に空気・水・土壌・農産物の調査を継続的に行うべきではないか。
 - ③ 調査結果に基づく行動計画を立案すべきではないか。
- (2) 地域防災計画について
 - ① 市民の目線に基づいて見直す必要があるのではないか。
 - ② 放射能汚染など、危機的な事象に対する方策も織り込むべきではないか。
- (3) 防災訓練について
 - ① 今年度の、市の訓練はどのようなものにするのか。
 - ② いっつき避難所でしか訓練していない地域があるが、広域避難所に集めてみることも考えるべきではないか。

6月13日

- ③広域避難所の責任者と地域の防災リーダーとの接点は。
- ④地域の訓練について、より実践的なものにするべきではないか。

2. 広報のあり方を問う

(1) 広報の手段について

- ①市が活用している広報手段にはどんなものがあるか。
- ②それらの特徴は。
- ③それぞれの利用者をどう想定しているか。
- ④職員はそれらを認識しているか。

(2) 市のホームページについて

- ①ホームページのアクセスの最近5年間の推移は。
- ②アクセス解析をしているか。しているとすれば、市民はどんな情報に関心があると把握しているか。
- ③「高齢者はホームページを見ない」という声があるが、何らかの対策を講じているか。
- ④全世帯の内、どれくらいの世帯がホームページを見ていると考えているか。

(3) 広報紙について

- ①市が発行する広報紙はどれだけあり、発行時期はどうなっているか。
- ②今年度、それらの配布費用はいくらか。
- ③市民の認知を得る意味でも、できれば、広報はむらに統合してはどうか。

(4) 電子メールについて

- ①広報にもっと活用してはどうか。
- ②経費削減の意味でも、紙ベースの連絡から転換してはどうか。

(5) 羽村駅西口整備計画の周知について

- ①工事が済んでいる道路などの使用開始時期はいつか。
- ②交番の移転が計画されているが、いつ完了するのか。
- ③整備計画が一目でわかる、大きな掲示板を設置して、市民の理解を得るようにすべきではないか。

14 人目

1 番

倉 田 学
(60 分)

1. 災害に強いまちづくりを

- (1) 地域防災計画の想定する地震の規模をこれまでのマグニチュード (M) 7.3 から引き上げるべきではないか。
- (2) 防災行政無線放送が聞こえないという声があり改善すべきではないか。また聞こえなかったり聞き逃した場合などに、放送した内容を電話で確認できるように、フリーダイヤルの音声案内テレホンサービスを実施してはどうか。

6 月 13 日

(3) 防災備蓄倉庫について

- ①現在何か所に設置してあり今後はどのような計画になっているか。
- ②防災備蓄倉庫を各町内会ごとに設置してはどうか。

(4) 夏に計画停電が実施された場合について

- ①エアコンなどの冷房機器が使えないことにより体力のない高齢者や体温調節のできない乳幼児を熱中症から守るための対策を考えているか。またやるとしたらどのようなものが考えられるか。
- ②冷蔵庫が使えない事による食中毒の増加を防ぐための対策を考えているか。またやるとしたらどのようなものが考えられるか。
- ③医療機関、老人ホームなどの福祉施設、保育園などの対応はどうする考えか。

(5) 被災地から避難されて来た方の支援対策について

- ①羽村に避難されてきた方の実態調査をすべきではないか。
- ②親戚などの家に避難している人の支援を行うべきではないか。
- ③避難者が民間の住宅に入居した場合の家賃の補助制度を実施してはどうか。
- ④避難者の就労支援はどのように考えているか。また市役所への臨時雇用や、就職活動への支援を行ってはどうか。

(6) 羽村市木造住宅「耐震診断」及び「耐震改修」補助制度の補助対象住宅を全ての住宅対象に拡大すべきではないか。

(7) 大気中の放射線量を測定する簡易測定器で保育園や小中学校、公園などの測定を定期的に行うべきではないか。

2. 福祉を充実させ高齢者に優しい羽村市を

(1) 国民年金のみや無年金で生活していかなければいけない生活困難な高齢世帯の生活について市はどのように考えているか。

(2) 生活困難な高齢世帯の家賃補助制度を設けるべきではないか。

(3) 介護保険の利用料と保険料の減免変額をすべきではないか。

3. 若者の雇用・就労支援の強化を

(1) 現代の若者の就職難を市はどのように考えているか、またどのように対応しているか。

(2) 若者の就労支援など総合的な雇用対策を推進する事を目的とする青年雇用対策窓口を設置してはどうか。

(3) 失業中で求職中の人に対し就職活動をする際に必要な履歴書、証明写真、交通費の負担を補助する制度を実施してはどうか。

4. 安心して子育てできるように支援策の拡充を

(1) 子育て支援策について

- ① 子育てしやすいと言われている羽村市において認証保育所、認定こども園、家庭福祉員を利用している保護者に対しての保育料補助制度がないことを市はどのように考えているか。
- ② 認証保育所、認定こども園、家庭福祉員の保育料補助制度を設けるべきではないか。